

## 第2回SCカフェ アンケート(N=194)

問2. 今回の生活支援コーディネーターカフェについての感想をご自由にお書きください。また、より詳しく知りたいと思った点がありましたらあわせてお書きください。

＜感想＞良かった点
・ 全国の生活支援コーディネーターと悩みを共有し繋がることができた。
・ 通常の研修会では、ありきたりな成功例の事例が多く、今回のカフェのように身近な悩みなどがテーマになっているのは新鮮だった。
・ 迷いながら業務にあたることが多いが、皆さんも同じような課題を抱えておられて、悩みを共有できたような気がする。
・ 登場した方々の会話力、地域愛、人柄が出ていた。
・ 生活支援コーディネーターの喋り場のようなスタイルで本音トークも引き出せていたのが良かった。
・ 現任の生活支援コーディネーターが大変な事や困っている事を率直に話されていて、葛藤しながら活動されているのが伝わり、共感する事が多くありがたかった。
・ 共感できることや、活動のヒントになる話を聞くことができた。どうしたらよいのかと迷いがあったが、今後の活動が意欲的に取り組めそうだ。
・ ケアマネジャーをしているが、話を聞いたことで当区の生活支援コーディネーターの苦労も想像。他職種を知ることで連携の仕方のヒントをもらえた。
・ アットホームで和やかな雰囲気の中で話をされていたので構えずに聞くことができた。
・ 発表した生活支援コーディネーターの「入って、繋ぐ人」との言葉、使わせていただきます！
・ コーディネーターは「包括の機能強化」という話について、すぐ納得できた。やはりそこを目指していくんだと、改めて学ぶことができた。
・ 協議体を作れないことが悩みとなっていたが、そこにこだわらなくてもいいのではないかと、もっとやるべきこともあるのではないかと改めて気が楽になった。
・ 地域毎、立場毎の意見が聞けて、参考になりました。
・ 「してあげる資源」と「本人の資源」について改めて認識できた。
・ 前回の第1回生活支援コーディネーターよりも身近に感じられる内容で、人数も聞きやすい人数だった。
・ 生活支援コーディネーターを全く知らなかった地点から出発したので、2回目のカフェでかなり活動の様子を理解できるようになってきた。
・ 2時間は集中できるちょうど良い時間だった。
・ 受託者としての思いや行政との関係など、普段知ることがない話を聞くことができた。
・ ヒントや助言を聞けて、すぐやれないことも、まずは意識してみようと思えた。今後の活動に活かしたい。
・ 発表された生活支援コーディネーターの皆さんが、こちらが想定していた範囲を超えた活動をされていることに尊敬した。
・ 生活支援コーディネーターはやはり外へ出て聞き取りをしてコミュニケーションを多くとっての活動だと思えた。
・ 多様な主体との連携の在り方について、地域包括支援センターやケアマネ、民間の企業との連携や情報共有について、参加者の方々のエピソードも交えながらの話がとても参考になった。
・ 自治体によって、活動の仕方が様々で自由でいいのだと気持ちが楽になった。
・ 包括と2層のかかわり方が本当に良く分かった。
・ ケアマネジャーとの連携の取り方や2層協議体の取り組み方の話が参考になった。
・ 仕切りを行う方の本音を引き出す自然な進行為が上手かった。
・ 経験年数は様々で、それぞれに困難等はあるながらも、前向きに明るく活動されている様子が分かり元気をいただいた。
・ 型にとらわれるのではなく、柔軟に取り組めるのがこの事業の強みだなと改めて思った。
・ 地域包括支援センターとの連携や企業や地域の商店などをどう巻き込むかなど詳しい内容が聞けたので良かった。
・ 今までの地域資源の確認・地域の方々の困りごと調査などの活動が、どのような目的で行っていたのか、ぼんやりとしていたことが再確認できた気がする。
・ 自治体との関係性であったり、地域資源の知る事の大切さ、難しさなどコーディネーターの生の声を聞くことができ、コーディネーターの奥の深さ、難しさを知ることができ勉強になった。
・ 自立をだめにししない支援、各自にあった支援をコーディネートしていく。分かってはいはいたが、新たに強く感じた。
＜感想＞改善した方がよい点
・ もう少しどういう進捗で行うかの状況の説明がほしい。
・ 解決に向けてのアドバイスをもらえる体制もほしい。
・ もう少しテーマを絞って、各々の考え方や行動の仕方をきいてみたい。
・ インタビュー時間が短く、もう少し時間をかけていただければよかったと思う。皆さんの活動について、詳しく知りたかった。
・ 視聴者の質問をたくさん拾ってもらい、意見交換がしたかった。
・ 資料がなく、会話だけで進めると記憶に残りにくいと感じた。
・ 話題提供について、参加者とチャットできたら良かった。
・ 事前にインタビューに出演する生活支援コーディネーターの名前・担当地域名・おおよその規模(人口や高齢化率)を書面で教えてもらえると分かりやすい。
・ 事前にどのような所属や立場の生活支援コーディネーターが参加されるのか等の情報があると良い。
・ 参加者がグルーptークできるものだと思っていた。もう少しチラシに詳しい内容があると親切だと思う。
・ 様々な立場の生活支援コーディネーターが参加するものになればより良いと感じた(今回は専任の方が多かったので)。
＜感想＞生活支援コーディネーターの課題
・ 第2層生活支援コーディネーターの話題が中心だったので、行政と住民との板挟みのような発言が多かったように感じた。
・ 地域包括支援センターとの連携は意図しておこなっているが、ケアマネジャーとの接点やニーズの把握までは至っておらず、今後の課題だと感じた。
・ 民間企業の活用についてまだノウハウが少なく、企業や地域に伝えることやマッチングなど課題が多いと感じた。
・ 生活支援コーディネーターに求められることがすごく多い。
・ 第2層生活支援コーディネーターの思いはどこも共通していると感じた。第1層としてより連携が必要と感じた。
・ 兼務している生活支援コーディネーターが多い印象を受けた。

<ul style="list-style-type: none"> <li>ざつぱらんに話せる場を、自分の働く近隣の市町村や同じような環境の生活支援コーディネーターと設けてみたいと思った。</li> <li>自治体と生活支援コーディネーターとの関係はこれまでも意識していたが、包括や居宅との関係についてはあまり考えていなかった。今回の気づきを今後の業務に活かしていきたい。</li> <li>コーディネーターとして包括主催の地域ケア個別会議等に参加しているが、もっと連携し情報共有が必要だと感じた。</li> <li>包括との連携の苦労を知ることができた。包括職員としては、地域のケアマネージャーとの情報共有や本人をアセスメントした上での情報提供が大切だと感じた。</li> <li>生活支援コーディネーターの認知度を上げていくことが、色々な連携の取りやすさにつながっていくのではないかと感じた。</li> <li>生活支援体制整備事業は、包括支援センターの機能強化？なのか少し疑問に思った。</li> <li>市町村によって環境や体制が随分違うと感じた。自分の市とは全然違い、愕然とした。</li> <li>対話しお互いに理解し合うことが大切とあったので、お互いに協力し合える関係づくりをしていきたいと思った。</li> <li>私は行政職員で委託する側の立場だが、委託先のコーディネーターともっと話をする機会を増やして、気軽に何でも話ができるように普段から交流をするところから始めてみようと思った。</li> </ul>
---

<p><b>&lt;より詳しく知りたいと思った点&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政や民間企業との連携、協働について。</li> <li>地域課題を住民と共有しつつ、買い物支援へ繋げていった事例紹介。</li> <li>生活支援コーディネーターの行政に対する要望。</li> <li>事業委託である行政側の考え方や関わり方について。</li> <li>自治体の課題把握の方法。</li> <li>行政や包括との連携がうまくいっている自治体、うまくいっていない自治体、改善されていった自治体の事例。</li> <li>第2層の動きを活かしつつ、より良い取り組みにつなげられるような第1層生活支援コーディネーターの動き方。</li> <li>1層と2層の生活支援コーディネーターの連携がうまくできている事例、うまくできていない事例。</li> <li>2層コーディネーター活動を専門職ではない方が担っている場合の話。</li> <li>兼任の生活支援コーディネーターで地域づくりをうまく進められている人の話。</li> <li>どのように協議体を作っていたか、どのように話し合いの場を進めているのか。協議体での生活支援コーディネーターの動き等。</li> <li>生活支援コーディネーターになりたての頃、どのような活動から入って今に至っているのかの紹介。</li> <li>どのような失敗から、成功に結び付いて行ったのか、失敗体験からの成功体験。</li> <li>地域や個人への介入の仕方や、生活支援コーディネーターとしてのインフォーマル提案の具体例。</li> </ul>
--

**問3. 今後の生活支援コーディネーターカフェに期待すること、要望等があれば、自由にお書きください。**

<ul style="list-style-type: none"> <li>誰でも取り入れられる、前向きになれる活動紹介。失敗例も含め、現場の生の声。</li> <li>チャットや質問機能について、パネラー以外のコメントも見てみたい。「〇〇について書き込んでみてください」など誘導してほしい。</li> <li>悩みのテーマ別、生活支援コーディネーター別(社協/包括、1層/2層)とグループ分けしての情報交換。</li> <li>民間の事業所で委託にて活動されている生活支援コーディネーターの話も聞きたい。</li> <li>双方向をもっと意識しての開催。</li> <li>地域の方とのコミュニケーションが取れた例。</li> <li>生活支援コーディネーターの思っていること、感じていることを行政に伝え、つなぎ役になってほしい。</li> <li>情報交換ができたり、応援し合えるような機会。</li> <li>困っている内容のテーマを決め、解決策を先進的に取り組んでいる生活支援コーディネーターが話し合い議論していくようなカフェ。</li> <li>1年目の方がどのような活動をしているか。</li> <li>行政との連携について。</li> <li>行政も参加しての議論を聞きたい。</li> <li>協議体運営の実際の手法、住民主体の助け合い活動などの立ち上げ後の支援などについての成功事例や実践活動。</li> <li>悩みを抱える行政側(委託元)が、他地域のコーディネーターの意見を聞く。</li> <li>第1層生活支援コーディネーターや市町村の生活支援体制整備事業担当職員へのインタビュー。</li> <li>レジェンド的な人の話を聞く会。</li> <li>2回目から参加したが、どういった形で進めるのか最初に説明がほしい。</li> <li>企業との連携の仕方。</li> <li>休憩時間を設けてほしい。席を外した時に大事な話を聞き逃してしまいそうなので。</li> <li>立場(行政、社協、社福法人、住民等)や専任兼務、性別など偏らないようにしてほしい。</li> <li>移送や買い物の課題に関して、全戸訪問ニーズ調査をされた事例等。</li> <li>企業と繋がる部分で、企業メリットがどこか教えてほしい。</li> <li>テーマはひとつで良い。もう少し話題を絞って掘り下げてほしい。</li> <li>第1回のように登壇者も資料があったほうがありがたい。それを事前に共有してほしい。</li> <li>地域で話し合う(協議体)の内容について。</li> <li>包括的支援事業について、事例を交えた情報提供。</li> <li>困ったこと等の解決策、失敗事例。</li> <li>煮詰まっている時の息抜きの場所。</li> <li>ケアマネとの協働について、具体的事例。</li> <li>参加型の開催、会場での参加。同時に全国の生活支援コーディネーターとオンラインでもグループディスカッションを行う。</li> <li>総合事業対象、要支援の卒業先として、企業と結び付けたクライアントが活躍できる場の展開について。</li> <li>地域資源の支え手の話(ボランティアでの地域資源・サービスや企業連携のサービス等)、アプローチ方法や失敗事例。</li> <li>ぶっちゃけインタビューは続けてほしい。</li> <li>色々な地域(都市～山間部地域)の意見を聞く事で、自身の地域をもっと客観視したい。</li> <li>共生社会に向けた取組(子ども、障がい、高齢)を行っている生活支援コーディネーターの取り組み。</li> <li>第1層の協議体を含めた活動事例。</li> </ul>
---

・ 他地区の1層と2層との関係性やそれぞれの役割り。
・ 社会福祉法人の社会貢献と企業CSR活動へのアプローチ方法の事例。
・ インタビュー対象者の名簿と担当市町村、所属を事前資料として提供してほしい。
・ 今のスタイルで回数を重ねるのが良い。
・ 話題に出てくる基本的な事に対する初心者向けの簡単な説明。
・ 生活支援コーディネーターの仕組みを作った人のゲストに招いての対談。意図を聞きたい。
・ 移動手段に関して市全体の公共バスを他の地域ではどの様に高齢者向けに活用しているのか。
・ 民間の事業所にアプローチした手法 事例について学びたい。
・ 居場所づくり、ボランティア、見守り活動、移動支援(外出支援含む)をどう解決したか、工夫してきたかの事例。
・ 「行政の方針と地域の現状や要望の乖離」にどう対応しているかの実例。
・ パネリストなしで色々な課題を挙げて、チャットでやり取りしてみたい。
・ 出演者のプロフィールは資料揭示するとそのぶん意見交換の時間が取れる。また、途中で視聴者からの質問にもいくつか答えてほしい。

問9.「生活支援コーディネーター応援サイト」への感想や要望があれば、自由にお書きください。

<感想>
・ いろいろな意見が知れてありがたい。
・ 多くの人が同じ気持ちているのだなと思うと嬉しくなる。とても勇気づけられる。
・ これからはこのサイトで情報収集したいと思った。
・ 日々の活動に困っているので、助けになりそう。
・ 色々なメッセージがあり、励みになる。
・ 日々改善していただきとても見やすい。更新されるのがとても楽しみ。
・ 色々な生活支援コーディネーターと知り合えるすばらしい場だと思う。誰かの事例を知ることで先の展開が予測できるし、たとえサイト上であっても自分の応援者がいることで頑張れる。
・ これからも孤独で不安な生活支援コーディネーターの憩いの場となってほしい。
・ 今後も先進的な取り組みをされている生活支援コーディネーターの活動を紹介する場、困り事を気軽に相談できる場であってほしい。
・ 色々と考えられていて、たまに見たくなる。このサイトがあるから頑張れる方もいると思う。
・ 各地へ研修に行く機会が減っているので、全国の情報を得られるのが良い。
・ 地域や組織の違いにより、色々な意見や取り組みが聞けるので、たいへん参考になる。
・ 時間がある時や活動に行き詰った時など、よく見させていただいている。

<要望>
・ もっと気軽に、活発に意見を投稿しやすくなると良い。書き込みが増えてほしい。開かれたイメージになると使いやすい。
・ 様々な事例があるとありがたい。
・ もう少し見やすいサイトになると良い。
・ コメントへのコメントができ、かつ自分のコメントにコメントがついたことが分かる、より相互のやりとりにつながると感じた。
・ ネットが苦手気味な世代でも、見やすいサイトだと良いと思う。
・ 気軽に愚痴を言えるコーナーもほしい。
・ なんとなく見にくいので使いにくと思う。これから機能が充実していくことを楽しみにしている。
・ どのサイトでも言えることだが、情報が増えれば増えるほど、欲しい情報、気づきに繋がる情報にたどり着きにくくなるというジレンマを感じている。
・ スマホで見る人が多いので、分かりやすい表示を望む。
・ 情報の掲載等はサイトが良いが、情報交換や交流についてはSNS(LINEのオープンチャット)だと使い勝手が良いと思う。